

胃がん検診精度管理委員会

担当理事：渋谷大助

委員：石川 勉、一瀬雅夫、伊藤高広、入口陽介、北川晋二、戸堀文雄、長浜隆司、春間 賢、細川 治、水口昌伸

委員会開催：2回（内1回持ち回り）

1. 偶発症調査について

・平成25年度胃がん検診偶発症アンケート調査を実施し、集計結果を機関誌54巻1号委員会報告に掲載した。

・平成26年度胃がん検診偶発症アンケート調査票

5. その他の脚注（4）を下記に変更した。

（4） 外傷には肋骨・肋軟骨損傷も含む

・「胃がん検診偶発症アンケート調査報告」の英文標記について検討を行い、下記に了承された。

平成〇年度胃がん検診偶発症アンケート調査報告

「Annual report of complications related to gastric cancer screening : results of the Japanese Society of Gastrointestinal Cancer Screening survey from April 1, 〇〇〇〇 to March 31, 〇〇〇〇」

2. 胃X線読影講習会について

第4回胃X線読影講習会プログラム（平成27年6月6日大阪）について報告された。参加者65名。

3. 胃X線検診のための読影判定区分について

「胃がん検診精度管理委員会」と「胃X線検診の読影基準に関する研究会」と共同で理事会に答申し承認された。機関誌54巻1号委員会報告に「胃X線検診のための読影判定区分」を発表した。

4. 対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル

厚労省の研究班（班長：深尾彰）から「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」が発刊される旨が報告された。

5. 認定医・胃がん検診専門技師について

認定医の合格者数、認定技師の新規認定数・更新状況ならびにNPO検定試験の合格者数が報告された。認定技師の新規申請者数と更新状況が低いことが指摘された。その原因について検診従事者委員会に調査を依頼した。